



北斗

ほくと

伝えたい言葉

ひとりでみる夢は夢でしかない。みんなで見る夢は現実となる。
オノ・ヨーコ

令和8年2月18日発行

附小6年生が中学校体験

1月28日の午後1時に附属小学校の6年生が本校を訪れ、中学校の授業を体験しました。私が教諭していた頃には、2月頃に私が小学校に行って6年生に授業をし、小学校の柳瀬校長先生が5月頃に中学校に来てくださって1年生に授業をするなどの交流が盛んでした。

いつなくなってしまうのかはわかりませんが、**附属3校園の連携と教科担任制の相互理解のために**、新しい形で取組に挑戦してみようということになりました。そこで、本年度は小学6年生が5教科のうち2教科を選び(午後の2時間を使って)中学校の授業を体験する計画を立てました。

3年生の教科担任の先生方が授業を行い、以下の内容を6年生は学びました。

教科	教科担当	授業の概要
国語	島津先生	百人一首をとおして、中学生で学習する和歌を題材にし、言葉の美しさや表現の仕方について学ばせる授業
社会	渡邊先生	SNSの使用禁止について自分の意見を考え、話し合いをすることで、児童に話し合いの大切さや難しさを学ばせる授業
数学	横山先生	買い物をするという生活体験を想起させ、どちらを購入するかなどの理由を明確にしなが割合について考えを深める授業
理科	瀬戸口先生	静電気の性質を見いだす活動をとおして、中学校理科の探究の過程を体験したり、中学校での学習への期待を高めさせたりする授業
英語	柳田先生	小学校で習った表現を聞いたり話したりした後書く活動を入れることで、児童に中学校から学習する書くことへの興味をもたせる授業

小学6年生は、若干の緊張があった様子でしたが、次第に先生方にも慣れ、短時間のうちに積極的に活動したり、発言したりする姿が見られました。本年度3年生の教科指導をしてこられた先生方ですので、小学6年生の初々しい姿に若干のギャップを感じたかもしれませんが、楽しく、温かい雰囲気の中で授業は進みました。

小学6年生にインタビューしたところ、「**4月から附属中学校で学ぶので、その前に、中学校の先生による授業を経験できてよかった。中学校でも頑張っていきたい。**」という声を聞くことができました。



英語の授業で周りの仲間と情報の交換中

理科の授業で楽しい実験に向け準備中

これからも、附属3校園の連携や接続をより強いものにしていくための「**3校園で関わりをもつことができる機会**」をできるだけ計画していきたいと考えています。

さらに、2月16日の午後には、令和8年度に本校に入学予定の保護者を対象に、入学説明会を実施しました。主な内容は、校長・教育後援会長あいさつ、担当による入学手続き、物品販売、生徒の心得、自転車通学等の説明でした。その後、必要に応じて個別相談も受け付けました。

お知らせ

本年度、本校に**PTAの企画でオリジナルグッズ**が誕生しました。新入生については、物品販売の際に申込ができるという案内を配付しましたので、ぜひご活用ください。(チーム附属です。)
在校生については、既に販売の案内をし申込をいただいておりますが、現在も売店で**追加受付が可能**だということですので、ぜひご検討ください。

本年度最後の参観日・総会

2月8日は、本年度最後の参観日でした。1年生は各教科の授業、3年生は学級担任による道徳の授業、1・3年のE級は進路学習の授業を参観していただきました。

3年生にとっては、附属中学校で最後の参観日となり、学級担任の先生方による、思いのこもった授業が計画されました。

各学級の道徳の授業について紹介します。

学級	担任	題材	担任の思い
3年A級	柳田先生	ひとつの朝	合唱コンクール自由曲を用いて、伝えようとしている生き方を考え、よりよく生きていくこと、生きていく上で自分が大切にしたいことは何かを見つけてほしいという意図で、授業をしました。
3年B級	渡邊先生	缶コーヒー	新しい環境へ進む3年生に、周囲の人を思いやる気持ちと、自分の言動が周囲にどのような影響を与えるのか、具体的に考える想像力が大切であることに気付かせたいと思い、授業をしました。
3年C級	島津先生	アンマー	かりゆし58の「アンマー」の歌詞を用いて、今の自分がいるのは周りの支えがあって成長していることを考えさせ、家族愛や家族への感謝について気付かせたいと思い、授業をしました。
3年D級	實田先生	二通の手紙	卒業を控え、進学や進路選択など「自分の言動が誰かに影響を与える場面」が増える時期です。その中で「責任」と「本当の思いやり」について考えさせたいと思い、授業をしました。

2年生は、午後の2時間を使って立志式を実施しました。一人一人の写真と毛筆で漢字一字を書いた色紙、立志の誓いの言葉が体育館の壁面に掲示されていました。開始前の時間帯から、保護者の方は、興味深く熱心に、掲示物に見入っておられました。

校長による激励の言葉の時間をいただきましたので、ふたりの教え子の話を通して、「**私はかくありたい」と言葉に発することで伴走者や応援者を見つけれれること、自らが立てた志に向けて、日々、前進してほしい**と伝えました。

【附属中の教え子のこと】

「世界中には多くの苦しんでいる人や困っている人がいる。だからこそ人のために役に立つことができる仕事に就きたい」と語った。32歳になった彼女は、東京で母親をしながら「医師」をしているという。目標を達成し、仕事と育児を両立させている教え子を、人として心から尊敬している。

【初任校の教え子のこと】

30年前に受けもった生徒から昨年から今年にかけて、私宛に3通の手紙が届いた。

1通目は、大学卒業後、長年の間、大阪で精神保健福祉士の仕事をしてきたこと、現在は故郷である延岡市で小学校の講師をしていること、2通目は、仕事をしながら教員採用試験に向けての勉強を頑張っていること、3通目は、教員採用試験に合格し、4月から小学校教諭として正式に採用される予定であることが書かれていた。

夢や目標は、若いときだけではなく、**生涯にわたってもち続けるもの**であることを再確認した。

第1部では、厳肅な雰囲気の中、一人一人が「立志の誓い」を壇上で述べました。今、考えていることをわかりやすく伝える意識が高く、今回、言葉に発することを通して、自覚を高めることができ、明日に繋がる学びを獲得したように感じました。



立志の誓い



写真と色紙と誓いが掲示された壁面

第2部では、代表生徒(グループ)によるプレゼンテーションの発表がありました。修学旅行や職場体験学習等を通して考えたことやこれから生かしていきたいことを整理し、これからの生活にどのようにつなげていくとよいか十分に語られていました。

参観等の後は、PTA総会、教育後援会総会が実施され、令和8年度の新役員の承認などがなされました。PTA、教育後援会ともに、学校の教育活動や生徒の支援のために、献身的に考え、行動していただいております。引き続き、御支援、御協力をお願いいたします。

学級懇談においても、学級や生徒の現在の頑張りが、これからの見通しについて、共有されたと聞いております。お忙しい中のご出席に感謝申し上げます。